

日本防災士会奈良県支部第4回総会

と き 平成23年4月24日（日）、13時30～

ところ 奈良市防災センター、2F研修室

日本防災士会奈良県支部第4回総会次第

- 1、 開会 13時30分～
- 2、 支部長あいさつ
- 3、 来賓あいさつ及び紹介
- 4、 議長選出
- 5、 議事
 - 第1号議案 平成22年度事業報告について
 - 第2号議案 平成22年度会計報告について
 - 第3号議案 平成22年度会計監査報告について
 - 第4号議案 平成23年度事業計画案について
 - 第5号議案 平成23年度予算案について
 - 第6号議案 新役員の選出について
新役員あいさつと紹介
- 6、 その他 ～ 14時30分
- 7、 記念撮影 14時30分 ～ 14時45分
- 8、 防災研修「防災士の役割と課題」 14時45分 ～ 16時00分
- 9、 閉会

第1号議案

日本防災士会奈良県支部事業報告（案）

一、奈良県支部関係

1、奈良県及び県内各市表敬訪問

奈良県、奈良市へ木本支部長をはじめ役員が表敬訪問を行いました。特に奈良市へは新市長が誕生したこともあり、市長選終了後にも訪問しました。

なお、奈良県下の町村へは平成22年11月8日には天川村、黒滝村、下市町、高取町、明日香村。11月11日には、平群町、三郷町、王寺町、上牧町、河合町、広陵町へ伺い、防災士会への協力要請を行いました。特に、明日香村では村長と面会する機会を頂きました。

2、各種防災講演・研修会への講師派遣

奈良県内の市町村及び各自治体、各種団体から防災研修会や講演会での講師派遣依頼があり、役員会で協議し以下のとおり派遣しました。

<講師派遣依頼団体>

- 奈良県防災士養成連続講座（1月8日）
- 知的授産施設「ひまわり」防災研修会（6月30日）
- 桜井市まきむく社会福祉協議会防災研修会（7月24日）
- 桜井市社会福祉協議会防災研修会（10月31日）
- JP 中和局長会防災講習（10月27日）
- 大阪府富田林土木事務所管内防災マップづくり
（12月1日、12月4日、12月5日、2月8日）
- 三宅町石見自主防災会（9月6日）

- 奈良市サザンヒルズ自主防災会防災実技講習（2月20日）
- 桜井市社会福祉協議会防災マップ作成支援（3月10、13、19日）
- J P 中ブロック防災研修（11月19日）
- 桜井市初瀬地区自治会（12月13日）
- 曾爾村人権推進協議会防災研修会（12月17日）
- J P 南和局長会防災講習会

派遣講師・・・木本支部長、木村副支部長、植村事務局長、南上次長、
井上教育・研修部長他（柏田、奥田、奥田、各委員）

3、領府品の販売

今年度、奈良県支部として帽子を作成し各支部員へ販売しました。

4、支部備品の購入

今年度は、「郵便福祉公益事業」（10万円）を活用し、ヘルメット、デジカメ、ライト等防災備品を購入しました。

5、意見交換会（忘年会）

各支部員の意見を聞く機会をつくる目的で会費制により11月26日に忘年会を行い、28名が参加しました。

6、生駒ブロックの結成

生駒市の防災士が中心となって防災士会生駒ブロックが結成されました。
今後、生駒市を中心に地域で活動を進めて行かれますが、奈良県支部の一員ともして活動を行われる予定です。

7、奈良市六条地区防災の取り組み

奈良市六条校区自主防災会役員の方が防災士資格を取得し、今後、六条地区で防災活動を進めて行かれます。

今後、六条校区防災士会として活動されるかどうかを奈良県支部と協議。

二、役員会、専門部会

1、役員会

○第1回役員会（5月30日、奈良市防災センター）

参加者 木本支部長他12名

主な協議内容

各役員の任務分担の確認と、当面の日程確認及び各関係機関への表敬訪問等の調整について協議しました。また、本部のNPO化について協議を行いました。

○第2回役員会（8月5日、橿原市内）

参加者 木本支部長他8名

主な内容

奈良県防災総合訓練への参加について及び、郵便福祉公益事業の取扱い及び、支部の帽子作成について協議しました。

また、奈良市総合防災訓練への参加について協議しました。

○第3回役員会（9月15日、橿原市内）

参加者 木本支部長他10名

主な協議内容

各地の研修会の報告及び大阪市消防学校実技訓練の協議と、広報誌の発刊に向けた協議を行いました。

なお、2名の役員から辞意の申し出を受けて、役員補充の検討を行いました。

○第4回役員会（11月26日、天理市内）

参加者 木本支部長他11名

主な内容

奈良県安全・安心まちづくりアドバイザー登録についての協議と、支部研修会報告を行いました。また、各地区研修会への講師派遣及び研修会の報告を確認しました。

○第5回役員会（1月27日、橿原市内）

参加者 木本支部長他8名

主な内容

各種防災研修会への講師派遣の確認と、全国支部長会議報告及び支部県外研修会の確認を行いました。

○第6回役員会（3月25日、奈良市内）

参加者 木本支部長他14名

主な内容

支部総会の内容協議と新年度役員案を協議しました。また、東日本大震災への支援について協議しました。

2、広報部会

広報部会では、年二回の広報誌の発刊を目指して、その都度広報部会を開催し、第3号、第4号を発刊しました。また、昨年7月からは奈良県支部ホームページを開設し支部員の皆さんへ情報提供を行う形が整ってきました。このホームページでは、新着情報として「おしらせ」「研修会報告」を設定し、今後も地域で活躍する支部員のみなさんへのより新しい情報提供に努めてまいります。HPアドレス <http://bousainara.com/index.html>

3、教育・研修部会

教育・研修部会では年4回の研修会をめざして取り組んできました。

今年度は、

○災害図上訓練D I G研修会

○介護支援福祉用具・住宅改修研修会

○大阪消防学校実技研修会（大阪支部との合同）

○県外研修会「稲村の火の館」

の開催を行い多くの支部員の参加を得ました。

今後も、支部員のスキルアップと防災意識の向上を目指して研修を進めてまいります。

三、本部関係

1、日本防災士会全国支部長会議

○と き 平成22年5月6日（木）

ところ 東京都麹町区民会館

主な議題として、日本防災士会のNPO法人化と、各地域防災士会の現状報告が協議されました。また、NPO化に伴う会費についても協議が行われました。

○と き 平成22年12月9日

ところ 東京都千代田区「富士見区民会館」

NPO法人化の決定報告に伴い、各支部設置規定案及び新NPO役員設置規定案などが協議されました。

2、日本防災士会本部研修会「救出訓練」

と き 平成22年9月

ところ 岡山県

奈良県支部から、南上、柏田、高木、中島（支部未加入）の4名が参加

3、近畿ブロック意見交換会

昨年度は、大阪支部、兵庫支部、滋賀支部、和歌山支部に京都支部（準備会）の支部長及び代表者二回意見交換会を開催し、今後、相互協力や交流を

行うことを確認しました。

また、将来的には近畿連絡協議会の結成を目指すことも議論されました。
奈良県支部から木本支部長他役員が参加し、近畿ブロックの各支部の協力関係の確認と、合同でジャンパー購入すること等意見交換がされました。

※ 別紙資料参照

四、関連団体との連携

1、奈良県主催「防災総合訓練」への参加

○8月28日（日）、9時～12時

大淀町内・・・木本支部長他12名参加

2、奈良市主催「防災総合訓練」への参加

○9月2日（木）

奈良市内・・・木本支部長他5名参加

3、奈良県安全・安心アドバイザー事業への協力

昨年、奈良県から木本、大和、植村の3名がアドバイザーとして任命されたが、今年度は、井上、山口、柏田の3名が追加任命されました。
今年度の活動指導演として、

○家族の命を守るために「家庭内DIG」～初級編～

○「人財」育成セミナー・災害図上訓練「DIG」ファシリテーター養成講座の開設

○全員参加を目指した命を守るための応急手当の仕方

○救助に役立つロープワークと傾斜地における懸垂降下で救助を行う

○ロープの結索法を学ぶ（ロープワーク）

○救助に役立つ簡易タンカ作りで歩けないケガ人や病人を搬送する

第2号議案

平成22年度日本防災士会奈良県支部会計報告

自 平成22年4月1日
至 平成23年3月31日

単位:円

| | 科目 | 予算額 | 決算額 | 増減 | 備考 |
|----|-------|---------|---------|----------|-------------|
| 収入 | 繰越金 | 126,186 | 126,186 | 0 | |
| | 会費 | | | | |
| | 会費 | 300,000 | 272,000 | ▲ 28,000 | 2000円×136名 |
| | その他収入 | | | | |
| | 活動支援金 | 40,000 | 149,110 | 109,110 | 日本防災士会、郵政福祉 |
| | 研修参加 | 30,000 | 19,260 | ▲ 10,740 | 講師派遣 |
| | 販売収入 | 0 | 57,000 | 57,000 | 帽子 |
| | 貯金利子 | 100 | 82 | ▲ 18 | |
| | 雑収入 | 0 | 3,557 | 3,557 | |
| | 合計 | 496,286 | 627,195 | 130,909 | |

単位:円

| | 科目 | 予算額 | 決算額 | 増減 | 備考 |
|----|---------|---------|---------|-----------|-----------|
| 支出 | 事業費 | | | | |
| | 研修会議事業費 | 30,000 | 13,176 | ▲ 16,824 | DIG講習用具一式 |
| | 交流事業費 | 40,000 | 142,030 | 102,030 | 事業用物品、交通費 |
| | 広報活動費 | 150,000 | 57,640 | ▲ 92,360 | 広報誌、HP |
| | 事務費 | | | | |
| | 通信運搬費 | 70,000 | 148,550 | 78,550 | |
| | 需要費 | 70,000 | 7,178 | ▲ 62,822 | |
| | 予備費 | 136,286 | 0 | ▲ 136,286 | |
| | 合計 | 496,286 | 368,574 | ▲ 127,712 | |

| | |
|--------------|---------|
| 収入決算額 | 627,195 |
| 支出決算額 | 368,574 |
| 差引残額(次年度繰越額) | 258,621 |

平成22年度収支決算について、上記のとおり報告いたします。

平成23年4月1日

日本防災士会奈良県支部

会計 古瀬 齊之 

会計監査報告書

日本防災士会奈良県支部会計の収支について、関係帳簿に基づき監査した結果、適正と認められますのでここに報告します。

なお、支部の収入は会費のみになっているきびしい財政事情を踏まえて、今後より一層努力されることを申し添えます。

平成 23 年 4 月 23 日

幹事（会計監査）代行

前川 輝 男 

平成 23 年 4 月 21 日

幹事（会計監査）

西川 隆 清 

第4号議案

平成23年度事業計画(案)

| 事業項目 | 事業推進内容 | 実施時期 |
|-----------------|--|------|
| 地域における減災活動の推進事業 | <p>地域・職場における減災活動に防災士として積極的に取り組み、自主防災会や各種団体での防災研修会に参加します。そのために、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 震災などの自然災害に備えた予防・減災活動を働きかけます。(自治会、老人会、婦人会など) ・ 耐震補強・AED設置住宅火災報知器設置を呼びかけます。 ・ 地域の自主防災会などへの会員の参加を促します。 | 適時実施 |
| 交流事業 | <p>防災士相互の交流を深め、他支部や関係機関との交流を広げます。そのために、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災士相互の交流を深めに、ネットワーク(連絡網)作りを行います ・ 他支部との合同研修の開催をめざします。 ・ 各種団体との情報交換及び、交流を深めます。 ・ 各自治体の防災活動に参加します。 | 適時実施 |
| 広報・情報提供事業 | <p>支部広報誌をはじめ、各種防災関係の情報提供に努めます。そのために、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会報を年2回発行します。 ・ 関係団体との情報交換を進めます。 ・ テレビ、新聞などのマスコミ積極的に働きかけます。 | 適時実施 |
| 教育・研修事業 | <p>会員相互のスキルアップのために研修会などを定期的に行います。そのために、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支部主催の防災研修会を適時実施します。 ・ 各種防災実技講習を開催または参加します。 ・ 防災施設見学会、先進地視察を計画します。 ・ 家具転倒防止設置器具の取り付け、ロープワークの訓練、災害時の対応訓練(災害連絡等) | 適時実施 |
| 受託事業 | <p>将来的には、自治体や各種団体から防災活動での事業委託をできるように働きかけます。そのために、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各自治体での防災士会認知を広めるため、各地域の会員と自治体への表敬訪問の取り組みを続けます。 ・ 防災士の認知度アップのため、会員の名刺に「防災士」肩書きを入れる取り組みをします。 | 適時実施 |
| 災害救援事業 | <p>奈良県内及び国内において、災害が発生した場合救援・支援活動を行う。(東日本大震災等)</p> <p>(状況に応じて救援依頼の対応及び自主的な実働支援ができるように、まず救援・支援活動できる体制作りを進めます。)</p> | 適時実施 |

平成23年度日本防災士会奈良県支部年間事業計画表(案)

教育・研修部会

| | |
|--|---|
| <p>上 半 期</p> <p>4 月 ↓ 9 月</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・5/17(火) 生駒市喜里が丘自治会にて会議(防災組織作りへの支援) ・6/5(日)午後1:00開始 (奈良市防災センター) 防災クロスロードゲーム講習会(都市防災に備える技術の会・伊藤氏に依頼) ・6月から毎週土曜日奈良市大柳生消防団員対象に防災リーダー養成講座(DIG 編)を実施 ・生駒市ブロックとの合同防災研修 (生駒市にて) |
| <p>下 半 期</p> <p>10 月 ↓ 3 月</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災研修 倒壊家屋等からの救助活動講習(下半期10月から3月までの間で)日程調整中 |

※各地区のブロック単位での防災講習・研修を、研修部会として支援していく体制を整えてまいりますので、今後各ブロック単位での講習会及び研修会等を実施して頂きますよう依頼します。

第5号議案

平成23年度日本防災士会奈良県支部予算（案）

自 平成23年4月1日
至 平成24年3月31日

単位：円

| | 科目 | 予算額 | 前年度決算額 | 増減 | 備考 |
|-------|----|---------|---------|----------|------------|
| | 収入 | 繰越金 | 258,621 | 126,186 | 132,435 |
| 会費 | | | | | |
| 会費 | | 368,000 | 272,000 | 96,000 | 2000円×184名 |
| その他収入 | | | | | |
| 活動支援金 | | 50,000 | 149,110 | ▲ 99,110 | 日本防災士会 |
| 研修参加 | | 20,000 | 19,260 | 740 | |
| 販売収入 | | 57,000 | 57,000 | 0 | |
| 貯金利子 | | 90 | 82 | 8 | |
| 雑収入 | | 0 | 3,557 | ▲ 3,557 | |
| 合計 | | 753,711 | 627,195 | 126,516 | |

単位：円

| | 科目 | 予算額 | 前年度決算額 | 増減 | 備考 |
|---------|----|---------|---------|----------|-------|
| | 支出 | 事業費 | | | |
| 研修会議事業費 | | 30,000 | 13,176 | 16,824 | |
| 交流事業費 | | 70,000 | 142,030 | ▲ 72,030 | |
| 広報活動費 | | 100,000 | 57,640 | 42,360 | |
| 義援金 | | 200,000 | 0 | 200,000 | 東日本震災 |
| 事務費 | | | | | |
| 通信運搬費 | | 150,000 | 148,550 | 1,450 | |
| 需要費 | | 50,000 | 7,178 | 42,822 | |
| 予備費 | | 153,711 | 0 | 153,711 | |
| 合計 | | 753,711 | 368,574 | 385,137 | |

| | |
|-------|---------|
| 収入予算額 | 753,711 |
| 支出予算額 | 753,711 |
| 差引残額 | 0 |

第6号議案

平成22年度新役員の選出について

| | |
|-------|----------------------|
| 支 部 長 | 木本喜信（奈良市） |
| 副支部長 | 中田勇四郎（奈良市） |
| | 木村尚史（御所市、J P） |
| | 奥田英人（橿原市） |
| 事務局長 | 植村信吉（三宅町） |
| 〃 次長 | 南上敏明（天理市） |
| 〃 次長 | 奥田 仁（香芝市） |
| 会 計 | 古瀬博之（奈良市、J P） |
| 幹 事 | 前川輝男（奈良市、広報部会部会長） |
| | 井上 清（奈良市、教育・研修部会部会長） |
| | 平井紳二（生駒市、生駒市ブロック） |
| | 柏田勝幸（田原本町、磯城郡ブロック） |
| | 丹羽松一（奈良市、六条校区ブロック） |
| 会計監査 | 伊藤東洋雄（王寺町） |
| | 西川隆清（三郷町） |
| 顧 問 | 中川 徹（奈良市） |

【各ブロック及び専門部会】

◇ 組織部会（ブロック）

これまでは奈良地方気象台の警報発令区分に基づいた県下を5つのブロック（北西部、北東部、五条・北部吉野、南東部、南西部）と、会員の半数を占めるJP関係者及び、会員数の多い奈良市を足した7つのブロックとしておりました。

しかし、昨年度は、生駒市、奈良市六条校区、西大安寺地区で地域防災士会が結成され、現在、磯城郡が結成に向けて準備中であり、広陵町でも町主導で地域防災士会が結成に向けて協議中です。

このような現状を受けて、当面は、これまでのブロックに加えて、各地域防災士会を一つのブロックとしてその代表者を幹事として奈良県支部へ入って頂くこととし、その加入を呼びかけます。

- JPブロック（責任者 木村尚史）
- 奈良市ブロック（責任者 中田勇四郎）
- 生駒市ブロック（責任者 平井伸二）
- 奈良市六条校区ブロック（責任者 丹羽松一）
- 磯城郡ブロック（責任者 柏田勝幸）
- 西大安寺ブロック（責任者 協議中）
- 広陵町ブロック（責任者 協議中）

◇ 広報部会

部会長 前川輝男（奈良市）

部会員 勝川喜仙（明日香村・JP）、御門久実（菟田野・JP）

担当事務局 奥田 仁（事務局次長）

◇ 教育・研修部会

部会長 井上 清（奈良市）

部会員 山口正春（広陵町）、柏田勝幸（田原本町）

担当事務局 南上敏明（事務局次長）

◇ 事務局会議の構成

支部長の承認を得て、事務局長、会計、次長の他、各部会及びブロックから選出するものとする。